

みやぎ震災伝承連携推進事業補助金 採択事業
震災伝承施設と劇場および演劇関係者の連携による演劇作品のリーディング公演事業
『Voice ～仙台市東部沿岸地域の伝承と物語 フェスティバル特別編』
【実施状況報告】



公益財団法人仙台市市民文化事業団

事業概要

東日本大震災の発災によって継続性が分断された“仙台市東部沿岸地域の暮らしや文化”を震災伝承施設の監修のもと演劇作品として再構成し、仙台を中心に活躍する舞台俳優や音楽家による“声”と“音”を通して「演劇のリーディング公演」として伝える取り組み。



◆ 作品名：『Voice ～仙台市東部沿岸地域の伝承と物語 フェスティバル特別編』

- 構成・演出：高橋菜穂子
- 出演(舞台俳優)：藤原貢、野々下孝、宿利左紀子、片倉久美子、芝原弘、紅絹
- 演奏：山下進(横笛)、丹野富美子(マリンバ)
- スタッフ：舞台監督/佐藤公 照明/高橋亜希 舞台美術/大沢佐智子 道具製作/FACTORY-K
印刷物デザイン/高橋功二
- 主催：公益財団法人仙台市市民文化事業団、仙台市

制作期間：2022年9月～2023年3月

- 広報期間：2023年1月～
- 作品の創作(稽古)期間：2023年2月～(全6回)
- 作品の上演日/会場：2023年3月21日(火祝) 15:30-16:30/日立システムズホール仙台 シアターホール
(同日開催の「第2回 日立システムズホール仙台 パフォーマンスフェスティバル」での上演)

事業の様子



「仙臺まちなかシアター」などの企画を手掛け、演劇によって仙台を演劇で盛り上げる取り組みに尽力する演出家・高橋菜穂子氏が、本事業の構成・演出を担当。仙台市の震災伝承施設「せんだい3.11メモリアル交流館」の企画担当者とのやり取りを経て、仙台市東部沿岸地域で受け継がれてきた“ことば”を丁寧に台本に落とし込み、舞台俳優や音楽家、スタッフに伝えた。



リーディング公演に出演するのは、仙台を中心に活躍する舞台俳優6名と音楽家2名。熟練の俳優から若手へ技を継承するとともに、演劇の稽古を通して地域の歴史を学びながら、震災前から沿岸地域に伝わる物語をともに紡ぎ出す。そこに幻想的な笛の音色とマリンバの演奏が加わり、観る人の想像力を掻き立てる。



事業の様子

幅広い層への周知・集客のため、事業(公演)チラシを製作するほか、ウェブサイトやSNSでも定期的な情報発信を行った。チラシは市内各所への配置・送付のほか、県内外の震災伝承施設へも配置を依頼した。

リーディング公演『ボイス』

VOICE FES 特別編

仙台市東部沿岸地域の
伝承と物語

構成・演出/高橋美穂子
出 演/藤原貴
野々下孝
濱利左紀子
片倉久美子
芝原弘
紅緒
演 奏/山下透(指揮)
丹野重美子(マリンバ)

2023
3/21 開場 15:00
開演 15:30
(祝日)

日立システムズホール仙台
シアターホール (仙台市青葉区2-23-25)

入場無料【全席自由】
事前申込制/先着400名

同時開催
せんだい3.11メモリアル交流館
パネル展示

※詳しくは裏面をご覧ください

主催 仙台市青年文化センター (公益財団法人仙台市青年文化事業団) / 仙台市
制作後援 せんだい3.11メモリアル交流館
協 賛 みやぎ震災伝承施設推進事業賛助会

VOICE リーディング公演
『ボイス』

仙台市東部沿岸地域の伝承と物語 について
昨年度開催されたせんだい3.11メモリアル交流館の企画展「Voice～仙台市東部沿岸地域の伝承と物語」では、震災前から沿岸部に伝わる伝承や物語を、舞台俳優の身体を通じた“声”によって紹介しました。今回は「パフォーマンスフェスティバル特別編」をお届けします。

震災前から沿岸部に伝わる物語を仙台を中心に活躍する舞台俳優や音楽家が「声」と「音」で今に伝えます

スタッフ 演出/高橋美穂子 脚本/藤原貴 舞台美術/イナスト/大谷智子
音楽制作/FAC7091木 図案制作/イナスト/高橋美穂子

申込方法 **2023年2月6日(月)12:00より受付開始**
事前申込制(先着400名) 入場無料【全席自由】

①日立システムズホール仙台にて整理券配布
(1階事務所窓口で申込用紙をご記入ください。)

②Webフォームでの受付
Webフォームはこちら

1回のお申し込みで4名様まで申し込みいただけます。
※複数回で観劇希望の場合、全員のお名前をお知らせください。

【観劇希望の方にだけ】
ご来場いただきお礼の品をご用意しております。当日の会場にてお申し込みください。

同時開催! **せんだい3.11メモリアル交流館パネル展示** | 会場:シアターホール1階ロビー

2023 **3/20** 19:00-20:30 (一般1,000円/学生500円)
3/21 10:00-17:00 (入場無料)

さまざまなパフォーマンスを通して経験を結んだ交流を促すフェスティバル。2022年2月に第1回を開催し、大変好評のうち幕を閉じました。今回は、若者応援をテーマに3月20日、21日の2日間、子どもから大人までみんなが楽しめるおまつりを開催します。

詳しくは公式サイトへ

公式Twitter <https://twitter.com/perforfes> 公式Instagram <https://www.instagram.com/perforfes>

お問い合わせ 日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター) 〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
TEL: 022-276-2110 (休館日を除く) 【公式サイト <https://www.sendaiycc.jp>】

新型コロナウイルス感染症対策について 観劇のリスクを軽減するため、観劇、手荷物、マスク着脱など、ご来場のご注意をお願いいたします。
ご来場の際は、ご来場がスムーズにできるよう、事前の予約をお願いいたします。公演内容の変更または中止となる場合がございます。



事業(公演)チラシ

ウェブサイト・SNSでの情報発信(稽古の様子など)

事業成果 (2023年3月19日時点経過報告)

- 震災の記憶や経験の発信



リーディング公演の観覧募集には現在までに160名を上回る申し込みがあった。演劇の形式で舞台作品として上演することで、既存の関心層以外へも普及した。また、「日立システムズホール仙台 パフォーマンスフェスティバル」という多くの来場者数を見込むイベント内で上演することで、伝承の範囲拡大も図ることができた。

- 伝承を担う人材の育成



本事業においては、震災発生当時から継続して伝承を担ってきたベテランの俳優と若手の俳優と一緒に創作にあたった。年代や震災経験の差を超えてともに活動する場を創出することで、“震災伝承の担い手”を志す表現者を育成する仕組みづくりができ、将来にわたる継続的な伝承の人材育成へとつながった。

- 多様な主体との連携



せんだい3.11メモリアル交流館との制作連携のほか、仙台で活動する演出家・俳優・音楽家・技術スタッフらと連携して作品創作を行うことで、それぞれの専門性を活かした新たな伝承の形を実現した。また、若い世代への伝承を促すために地域の小学校や、演劇部のある高等学校などとも連携し、児童生徒の観覧を募るほか、他自治体の伝承施設からも招聘し、交流を図った。

今後の取組予定



- “市民参加”による伝承の担い手育成事業への発展

当事業団では来年度、今回のリーディング公演事業からさらに発展させ、市民参加による“伝承の担い手育成”のための事業を予定している。

特に、震災当時まだ幼かった高校生や若い世代の参加を促す。震災伝承施設の監修・制作連携のもと行う調査研究に軸足を置き、地域に実際に足を運んでの創作に取り組みたいと考えている。

- 他地域の震災伝承施設・団体との交流

今回のリーディング公演事業に足を運んでもらった他自治体の震災伝承施設の職員や関係者からのフィードバックをもとに、公演後も交流を継続したいと考えている。

- 市民団体や学校・児童館等への普及

演劇のリーディング作品として構成した台本を市民団体等の震災学習の題材として活用してもらえるよう整備したり、小中高等学校へ実際に俳優を派遣して表現指導を行うなどの展開も検討したい。